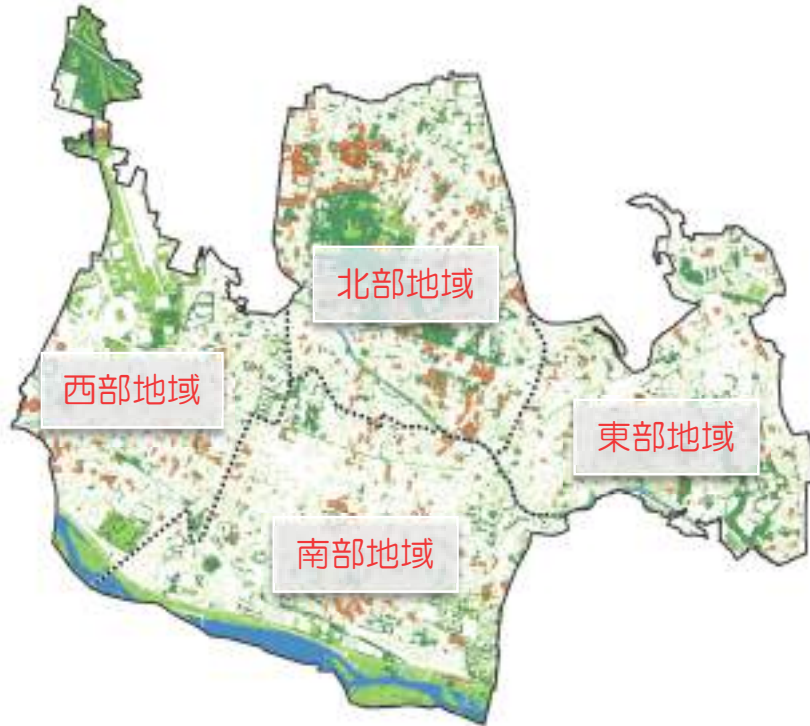


6-3 地域別計画

(1) 概要

＜地域の考え方＞

調布市都市計画マスタープランにおける地域区分と整合性を図り、市域を東部・西部・南部・北部の4つに分け、それぞれの地域の特性に合わせた計画を策定します。地域の環境資源や現状等を踏まえながら、4つの地域における地域別計画を定めます。緑の将来像の実現を目指しながら、体系に沿った施策を展開し、また各地域の方針に基づき、地域の方々が地域の緑に誇りと愛着を持ち、緑に携わりたいと思えるようなまちづくりを推進します。

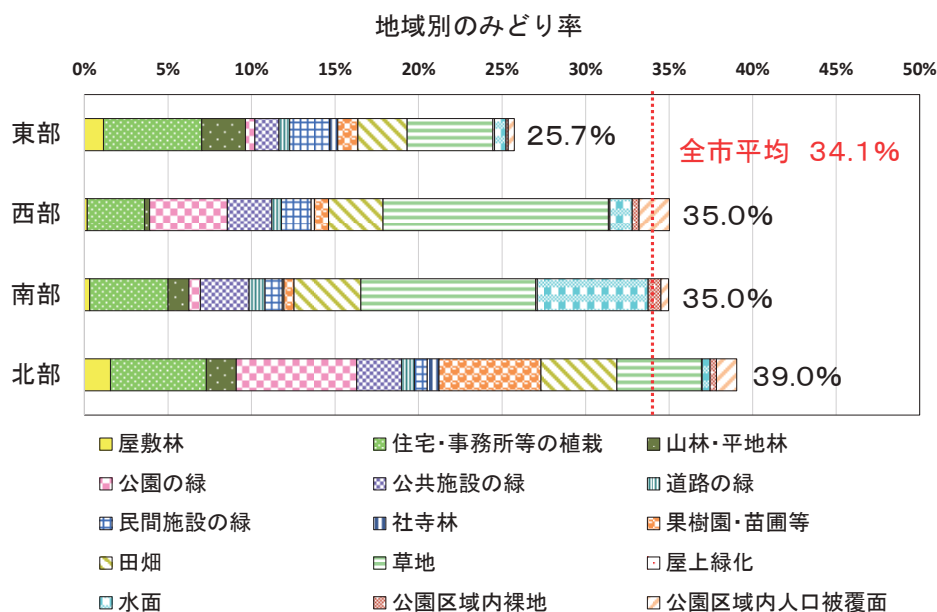


東部地域	西つつじヶ丘1～4丁目 緑ヶ丘1, 2丁目 入間町1～3丁目	東つつじヶ丘1～3丁目 仙川町1～3丁目	菊野台1～3丁目 若葉町1～3丁目
西部地域	野水1, 2丁目 飛田給1～3丁目 多摩川1, 2丁目	西町 上石原1～3丁目	富士見町1～4丁目 下石原1～3丁目
南部地域	調布ヶ丘1, 2丁目 布田1～6丁目 多摩川3～7丁目	八雲台1, 2丁目 国領町1～8丁目	小島町1～3丁目 染地1～3丁目
北部地域	深大寺北町1～7丁目 深大寺南町1～5丁目 柴崎1, 2丁目	深大寺元町1～5丁目 佐須町1～5丁目	深大寺東町1～8丁目 調布ヶ丘3, 4丁目



<地域別の特徴の概要>

地域別のみどり率は、全市平均の34.1%に対し、北部地域・西部地域・南部地域はみどり率が高く、東部地域はみどり率が低くなっています。構成比の特徴としては、東部では「屋敷林」「住宅・事務所等の植栽」「山林・平地林」「民間施設の緑」等が、西部では「公園の緑」「草地」等が、南部では「水面」等が、北部では「屋敷林」「公園の緑」「果樹園・苗圃等」等が、それぞれ構成比がとくに多くなっています。



緑被の構成比（% は全市平均より高く、% は全市平均より低いことを表す）

構成比	全市平均	東部	西部	南部	北部
屋敷林	2.3%	4.4%	0.5%	0.9%	4.0%
住宅・事務所等の植栽	14.4%	22.9%	9.8%	13.4%	14.7%
山林・平地林	4.2%	10.2%	0.9%	3.6%	4.6%
公園の緑	9.8%	2.2%	13.3%	2.0%	18.5%
公共施設の緑	7.3%	5.6%	7.6%	8.3%	6.9%
道路の緑	2.2%	2.5%	1.6%	2.7%	2.0%
民間施設の緑	4.2%	9.3%	5.1%	2.9%	2.0%
社寺林	1.1%	1.9%	0.6%	0.3%	1.8%
果樹園・苗圃等	6.5%	4.7%	2.4%	1.7%	15.7%
田畑	11.0%	11.5%	9.3%	11.5%	11.6%
草地	25.5%	20.0%	38.5%	29.9%	13.0%
屋上緑化	0.2%	0.4%	0.3%	0.3%	0.1%
水面	7.1%	2.7%	3.8%	19.0%	1.2%
公園区域内裸地	1.3%	0.5%	1.2%	2.2%	1.0%
公園区域内人口被覆面	2.9%	1.4%	5.2%	1.3%	3.1%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※上記の表の数値は小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計値は必ずしも100.0%と一致しない。

出典：調布市緑に関する実態調査結果（令和元年度）



＜地域別の特徴の概要＞

公園の面積は都立公園のある北部地域や西部地域が多くなりますが、地域別の公園誘致圏に基づく人口カバー率をみると、とくに東部地域の人口カバー率が全市の平均より低くなっています。

図表 公園等の分布と誘致圏 【再掲】



※対象は原則として公園・児童遊園・仲よし広場とし、緑地のうち多摩川自然観察緑地については、規模や河川敷として一体的な利用が考えられることから対象とした。

※誘致圏の設定は以下の通り。
面積 2ha 以上の公園
… 公園の外周から 500m
面積 2ha 未満の公園
… 公園の外周から 250m

公園誘致圏の人口カバー率…

国勢調査（小地域集計）をもとにした面積按分から推計される誘致圏内の人口について、総人口に対する割合を算出。取得できた最新データの都合上、平成 27（2015）年の人口について、令和 2（2020）年時点の公園誘致圏からカバー率を算出。

全 体	93.6%
東 部	88.3%
西 部	92.8%
北 部	95.5%
南 部	97.5%

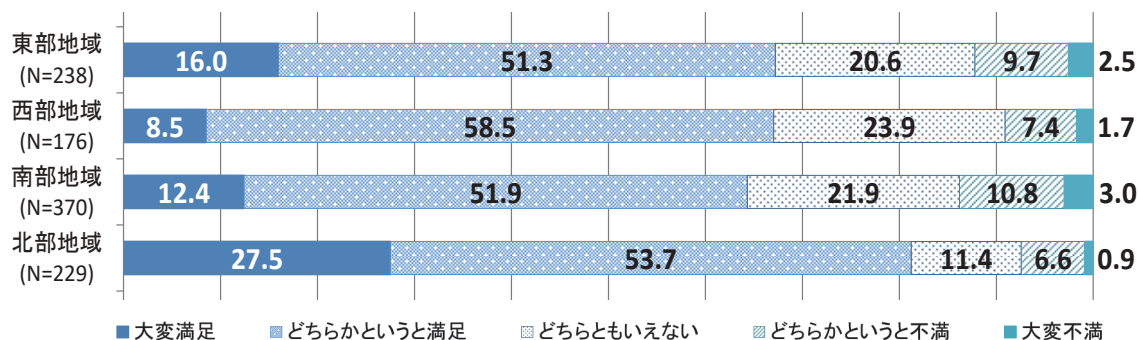
令和 2 年 8 月現在の整備状況に基づく



＜地域別の市民意向の概要＞

緑についての満足度は、北部地域で高く、「大変満足」「どちらかという満足」を合わせて8割を超えています。その他の地域はあまり差がなく6～7割程度となっています。

緑についての満足度



出典：調布市の緑に関する市民アンケート調査結果（令和元年度）

緑について不満な点は、1番目に「街並みの景色が悪い」、2番目に「公園や緑地が少ない」はいずれの地域も共通しています。

3番目以降として、東部地域では「自然の水辺、水環境が乏しい」「自然の景色が悪い」等が、西部地域では「自然の水辺、水環境が乏しい」「歴史・文化的資産が保全されていない」等が比較的高くなっています。南部地域では2番目の「公園や緑地が少ない」が他地域よりとくに高いほか、「緑が乏しい」「自然と親しみにくい」等が高くなっています。北部地域では1番目の「街並みの景色が悪い」が他地域より高くなっています。

緑について不満な点

	総数	緑が乏しい	公園や緑地が少ない	自然の水辺、水環境が乏しい	自然と親しみにくい	自然の景色が悪い	街並みの景色が悪い	歴史・文化的資産が保全されていない
東部地域	252	24	70	35	28	34	82	14
	100.0%	9.5%	27.8%	13.9%	11.1%	13.5%	32.5%	5.6%
西部地域	186	19	45	22	15	19	63	15
	100.0%	10.2%	24.2%	11.8%	8.1%	10.2%	33.9%	8.1%
南部地域	387	59	117	22	48	33	135	15
	100.0%	15.2%	30.2%	5.7%	12.4%	8.5%	34.9%	3.9%
北部地域	237	10	29	20	17	15	99	13
	100.0%	4.2%	12.2%	8.4%	7.2%	6.3%	41.8%	5.5%

% 1番目に割合が高い
 % 2番目に割合が高い
 % 3番目に割合が高い

出典：調布市の緑に関する市民アンケート調査結果（令和元年度）

※上表は、緑について『大変満足』『どちらかという満足』と回答した者も含めた全員の集計結果。

※複数回答可の設問のため、各回答割合の合計は100%とはならない。



市を象徴する緑だと思うものとしては、1番目に「大きな公園の緑」、2番目に「河川の緑」、3番目に「街路樹の緑」はいずれの地域でも共通しています。

それ以外として、東部地域では、「崖線の緑」「身近な公園の緑」が、西部と南部地域では、「駅前公園の緑」が、北部地域では「崖線の緑」「湧水の緑」がそれぞれ高くなっています。

市を象徴する緑だと思うもの

	総数	崖線の緑	街路樹の緑	大きな公園の緑	身近な公園の緑	駅前公園の緑	河川の緑	湧水の緑	その他
東部地域	252	50	84	205	21	22	110	17	8
	100.0%	19.8%	33.3%	81.3%	8.3%	8.7%	43.7%	6.7%	3.2%
西部地域	186	13	42	164	10	20	86	9	3
	100.0%	7.0%	22.6%	88.2%	5.4%	10.8%	46.2%	4.8%	1.6%
南部地域	387	34	113	320	18	37	220	15	9
	100.0%	8.8%	29.2%	82.7%	4.7%	9.6%	56.8%	3.9%	2.3%
北部地域	237	29	49	207	15	15	110	27	5
	100.0%	12.2%	20.7%	87.3%	6.3%	6.3%	46.4%	11.4%	2.1%

% 1番目に割合が高い **%** 2番目に割合が高い **%** 3番目に割合が高い

出典：調布市の緑に関する市民アンケート調査結果（令和元年度）
 ※複数回答可の設問のため、各回答割合の合計は100%とはならない。



野川



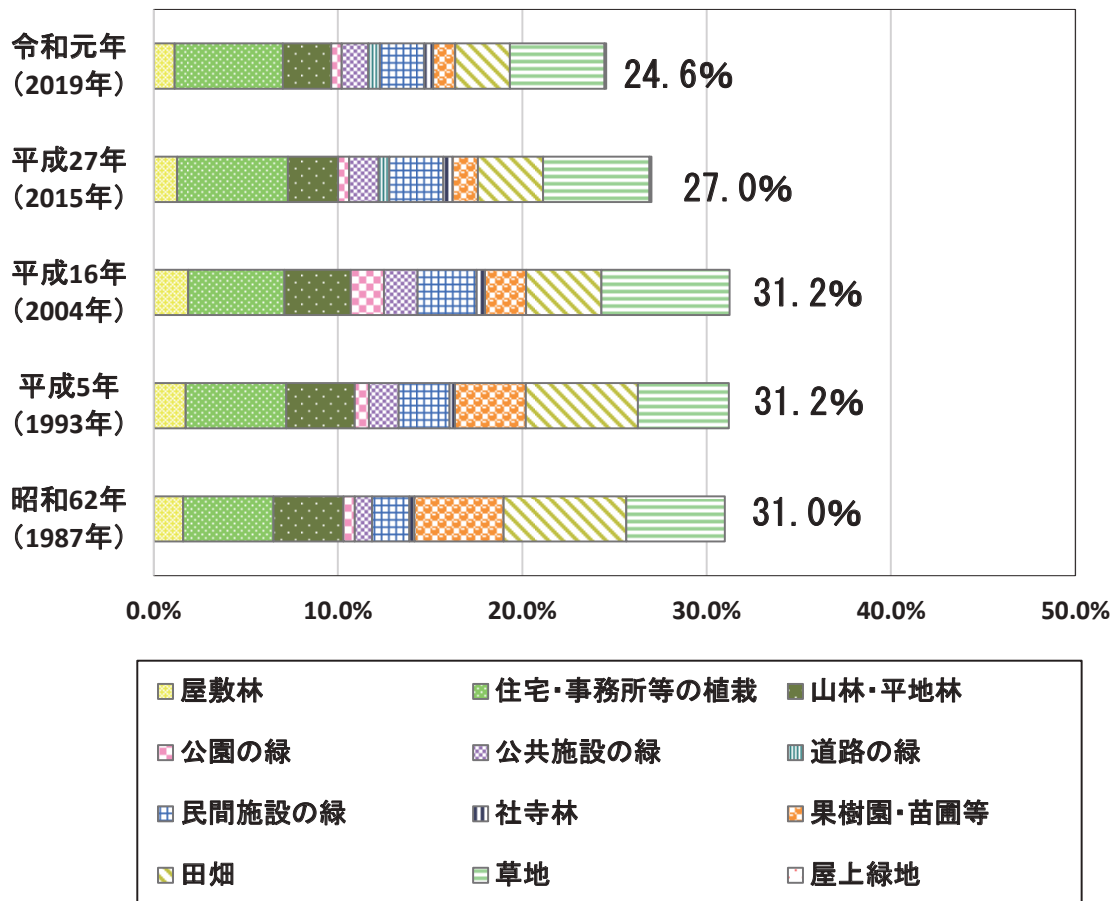
(2) 東部地域

< 現状 >

地域全体での緑被率は24.6%で、「屋敷林」「住宅・事務所等の植栽」「山林・平地林」「民間施設の緑」等の構成比が他地域と比べて高いのが特徴です。しかし、「山林・平地林」「民間施設の緑」は減少傾向にあり、その他、「果樹園・苗圃等」「田畑」も長期的に減少傾向にあります。

地域内では、国分寺崖線、仙川崖線といった崖線、野川、仙川、入間川の水系が地域内を通り、緑の骨格を形成しています。その他、特徴的な緑として、入間町、若葉町、東つつじヶ丘、緑ヶ丘には農地が比較的多くまとまっており、屋敷林とともに農の景観を形成しています。また、糟嶺神社・明照院等の社寺林、実篤公園などの歴史文化遺産と一体となった緑が分布しています。

緑被率の経年変化



出典：調布市緑に関する実態調査結果（令和元年度）



< 課題 >

- 東部地域において構成比が比較的高い緑は私有地の緑が多く、地域の緑環境の保全のためにはこれらのコントロールが課題となります。
- 国分寺崖線や文化資源、農地等の主要な緑を引き続き保全していく一方で、駅周辺や甲州街道沿いでは公園・緑地が少なく、緑の環境の創出が課題となります。
- 仙川駅やつつじヶ丘駅周辺には公園不足地域があるとともに、私有地の公園（借地公園）に依存している地域もあり、公園の拡充が求められます。
- 市民意向では、街路樹や身近な公園といった人工的な緑についての印象が強い一方で、水辺の緑や自然の景色に対する満足度が低くなっており、農や社寺の景観と一体となった自然な緑の空間形成が求められています。
- 国分寺崖線内に都市計画道路の一部が計画されており、道路と緑の共存や国分寺崖線の保全に配慮した検討が必要です。

< 方針 >

崖線に象徴される武蔵野の緑のはじまりを身近に感じる環境づくり

公園・緑地の整備・維持管理を推進しながら、国分寺崖線や仙川崖線などの崖線、糟嶺神社・明照院等の社寺林、実篤公園などの歴史文化遺産、東つつじヶ丘地区の都市農地等の緑を保全し、調布らしい緑を感じられる環境を形成します。













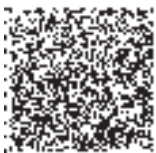
若葉の森



< 地域の将来像 >

凡例

- | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  公園・緑地等 |  調布の森 |  ふれあいの小径 ^{こみち} |
|  樹林地 |  シンボルとなる緑 |  崖線の軸 |
|  農地 |  駅周辺の花と緑の
あふれる空間づくり |  水の軸 |
| |  歴史文化資源 | |



< 施策 >

施策名	概要	全体計画との対応
仙川駅やつつじヶ丘駅周辺の公園不足地域の解消	<ul style="list-style-type: none"> 仙川駅やつつじヶ丘駅周辺には公園不足地域や借地公園に依存する地域があり、これらの解消のために、公園の配置・整備を検討します。 	1-(1) 質の高い公園・緑地の適正配置と利用促進 4-(1) 公共施設の緑化の推進
国分寺崖線・仙川崖線の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> 崖線を保全しながら、仙川崖線，国分寺崖線等，武蔵野の原風景を伝え，多様な生物の棲み処となる貴重な自然を保全します。 	3-(2) 崖線・樹林地・湧水などの保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
実篤公園と調和した緑の形成	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的資源と調和した緑の形成のため，実篤公園は調布市武者小路実篤記念館と一体となった管理と活用を推進します。指定管理者制度により民間活力を活かしていきます。 	3-(3) 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
仙川，野川，入間川を活かした水のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> 水辺に対する市民満足度が低いため，仙川，野川，入間川については市民と協働で良質な河川環境の保全と活用を図りながら，生態系ネットワークの形成を推進します。 	3-(4) 川辺の保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
東部地域の都市農地の保全と振興	<ul style="list-style-type: none"> 農の景観と民有地の緑の保全として，東つつじヶ丘地区をはじめとした都市景観と一体となった都市農地を保全し，農地の多面的機能を活かしながら振興を図ります。 	3-(5) 都市農地の保全と多面的な活用
東部地域をめぐる緑のネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> 道路における緑の共存のため，甲州街道や松原通りにおいては街路樹・植栽の維持管理を適切に行い，今後整備する都市計画道路においては整備を推進します。 小中学校等においては緑のカーテンの取組を推進します。 つつじヶ丘駅－仙川駅を結ぶ，ふれあいの小径については，歩きたくなる空間創出を推進します。 	4-(1) 公共施設の緑化の推進 5-(1) 水と緑のネットワーク形成
仙川駅，つつじヶ丘駅，柴崎駅周辺の緑のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺の緑の創出のために，仙川駅，つつじヶ丘駅，柴崎駅周辺の花と緑のあふれる空間づくりを推進します。 	5-(1) 水と緑のネットワーク形成 6-(2) 水と緑をそだてる意識づくり

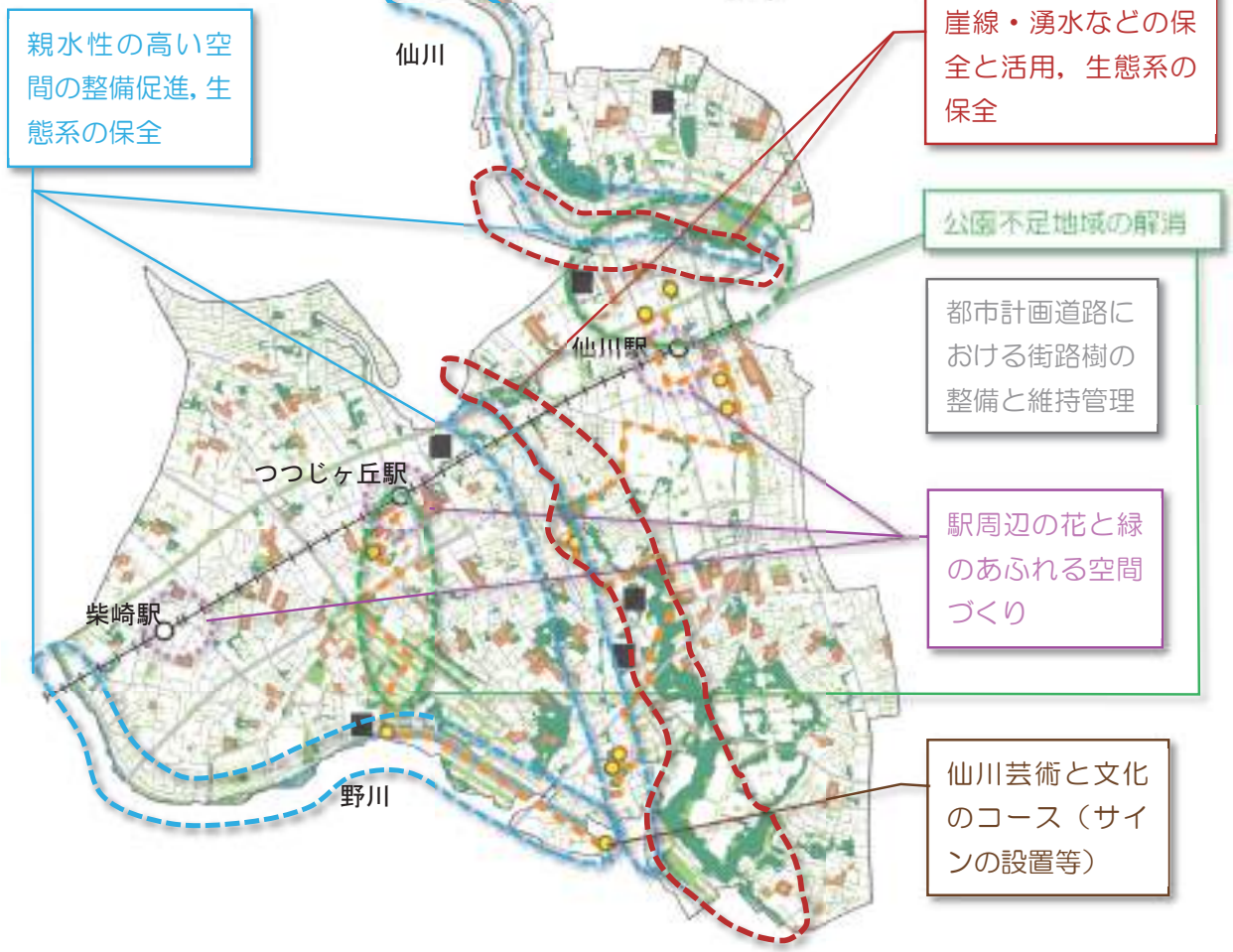


< 施策位置図 >

凡例

- 公園・緑地等
- 樹林地
- 農地
- 歴史文化資源
- ふれあいの小徑
- 公立小学校

- 都市農地の保全と多面的な活用
- 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
- 公立小中学校における緑のカーテンの取組推進



【全域で取組む施策】

- 1-(2) 市民参加による公園整備・管理の推進
- 2-(1) 公園・緑地等の計画的な管理
- 2-(2) 防災性を高める身近な緑の保全
- 2-(3) 公園・緑地の利用の適正化
- 3-(1) 民有地の緑化推進
- 4-(2) 市街地・住宅地の緑化による街並み形成
- 4-(3) 身近な樹木・植栽の保全
- 5-(3) 緑資源を活かした循環型社会の形成
- 6-(1) 市民・事業者・行政の協働による緑化活動の推進



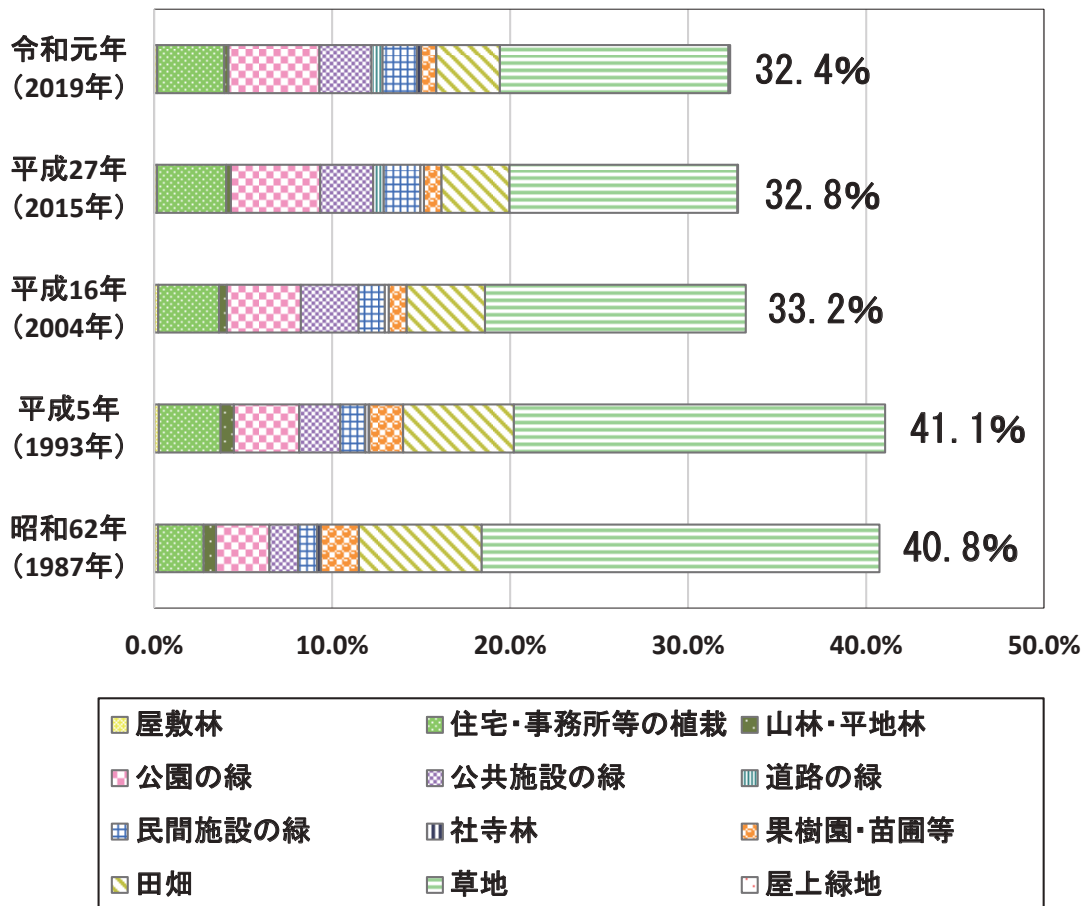
(3) 西部地域

< 現状 >

地域全体での緑被率は32.4%で、「公園の緑」「草地」等の構成比が他地域と比べて高いのが特徴です。長期的にみて「公園の緑」「道路の緑」「民間施設の緑」は年々増加していますが、「山林・平地林」「果樹園・苗圃等」「田畑」は減少傾向にあります。

地域内では、若宮八幡神社と若宮自然広場、布田崖線等の緑があり、府中用水、長瀬川が地域内を通り、北端部では国分寺崖線と野川が、南端部では多摩川があり、緑の骨格を形成しています。その他、特徴的な緑として、野川公園や武蔵野の森公園といった都立公園、調布飛行場や調布基地跡地といった広大な敷地、上石原、下石原、飛田給には農地が比較的にとまっています。

緑被率の経年変化



出典：調布市緑に関する実態調査結果（令和元年度）



< 課題 >

- ・減少傾向にある「山林・平地林」「果樹園・苗圃等」「田畑」の保全が課題となります。
- ・西部地域の緑被の大きな要素を占める「草地」は調布飛行場や民間のゴルフ場による部分が多く、必ずしもオープンスペースではないため、都立公園等の緑も活用しながら、地域の住民が活用しやすい緑環境の保全・創出を図ることが重要です。
- ・飛田給駅周辺や下石原2丁目付近は公園不足地域があるとともに、民有地の公園（借地公園）に依存している地域もあり、公園の拡充が必要です。
- ・市民意向では、大きな公園や駅前といった人工的な緑についての印象が強い一方で、水辺の緑や歴史・文化的資産に対する満足度が低くなっており、自然や歴史・文化と調和した緑環境の形成が求められています。

< 方針 >

大きな公園や河川等の広がりのある豊かな緑を感じる環境づくり

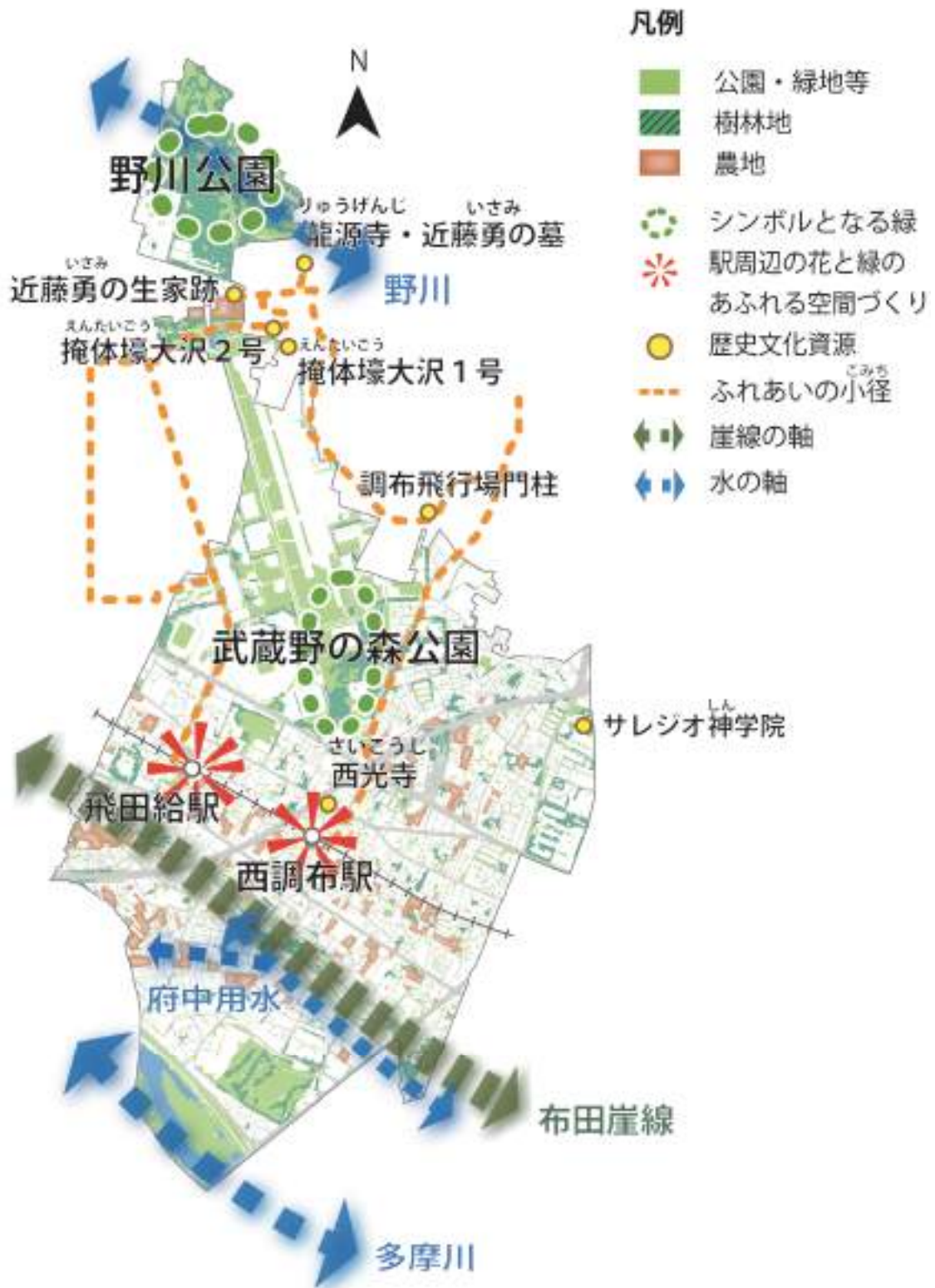
市内・市外の双方の人々にとって重要な都立公園や多摩川といった緑の拠点を活用しながら、鉄道周辺地域で不足する公園等の身近な緑の創出を推進し、広域的にも地域としても豊かな緑環境を図ります。



おもてなしガーデン（西調布駅）



< 地域の将来像 >



< 施策 >

施策名	概要	全体計画との対応
飛田給駅周辺や下石原2丁目付近の公園不足地域の解消	<ul style="list-style-type: none"> 飛田給駅周辺や下石原2丁目付近には公園不足地域や借地公園に依存する地域があり、これらの解消のために、公園の配置・整備を検討します。 	1-(1) 質の高い公園・緑地の適正配置と利用促進 4-(1) 公共施設の緑化の推進
国分寺崖線・布田崖線の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> 減少傾向にある樹林地の保全のため、若宮八幡神社周辺の布田崖線、国分寺崖線等、武蔵野の原風景を伝え、多様な生物の棲み処となる貴重な自然を保全します。 	3-(2) 崖線・樹林地・湧水などの保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
近藤勇の生家跡や武蔵野の森公園内の掩体壕、野川の水車等、歴史・文化的資源と調和した緑の形成	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的資源と調和した緑の形成のため、近藤勇の生家跡や武蔵野の森公園内の掩体壕、野川の水車等、歴史・文化的資源と一体となった緑の保全と活用を推進します。 	3-(3) 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
多摩川・野川を活かした水のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> 水辺に対する市民満足度が低いため、多摩川・野川の河川沿いや府中用水については、市民と協働で良質な河川環境の保全と活用を図りながら、生態系ネットワークの形成を推進します。 	3-(4) 川辺の保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
西部地域の都市農地の保全と振興	<ul style="list-style-type: none"> 減少傾向にある農地の保全のため、上石原2丁目、下石原2丁目、飛田給3丁目では、都市景観と一体となった都市農地を保全し、農地の多面的機能を活かしながら振興を図ります。 	3-(5) 都市農地の保全と多面的な活用
西部地域をめぐる緑のネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> 甲州街道や品川通り、スタジアム通り、天文台通りにおいては街路樹・植栽の維持管理を適切に行い、今後整備する都市計画道路においては整備を推進します。 小中学校等においては緑のカーテンの取組を推進します。 地域内の緑同士の回遊性を高めるため、飛田給駅－西調布駅を結ぶ、ふれあいの小径については緑化を推進し、歩きたくなる空間創出を推進します。 	4-(1) 公共施設の緑化の推進 5-(1) 水と緑のネットワーク形成
飛田給駅、西調布駅周辺の緑のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 飛田給駅、西調布駅周辺の花と緑のあふれる空間づくりを推進します。 	5-(1) 水と緑のネットワーク形成 6-(2) 水と緑をそだてる意識づくり



< 施策位置図 >



- 都市農地の保全と多面的な活用
- 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
- 公立小中学校における緑のカーテンの取組推進

- 【全域で取組む施策】**
- 1-(2) 市民参加による公園整備・管理の推進
 - 2-(1) 公園・緑地等の計画的な管理
 - 2-(2) 防災性を高める身近な緑の保全
 - 2-(3) 公園・緑地の利用の適正化
 - 3-(1) 民有地の緑化推進
 - 4-(2) 市街地・住宅地の緑化による街並み形成
 - 4-(3) 身近な樹木・植栽の保全
 - 5-(3) 緑資源を活かした循環型社会の形成
 - 6-(1) 市民・事業者・行政の協働による緑化活動の推進



(4) 南部地域

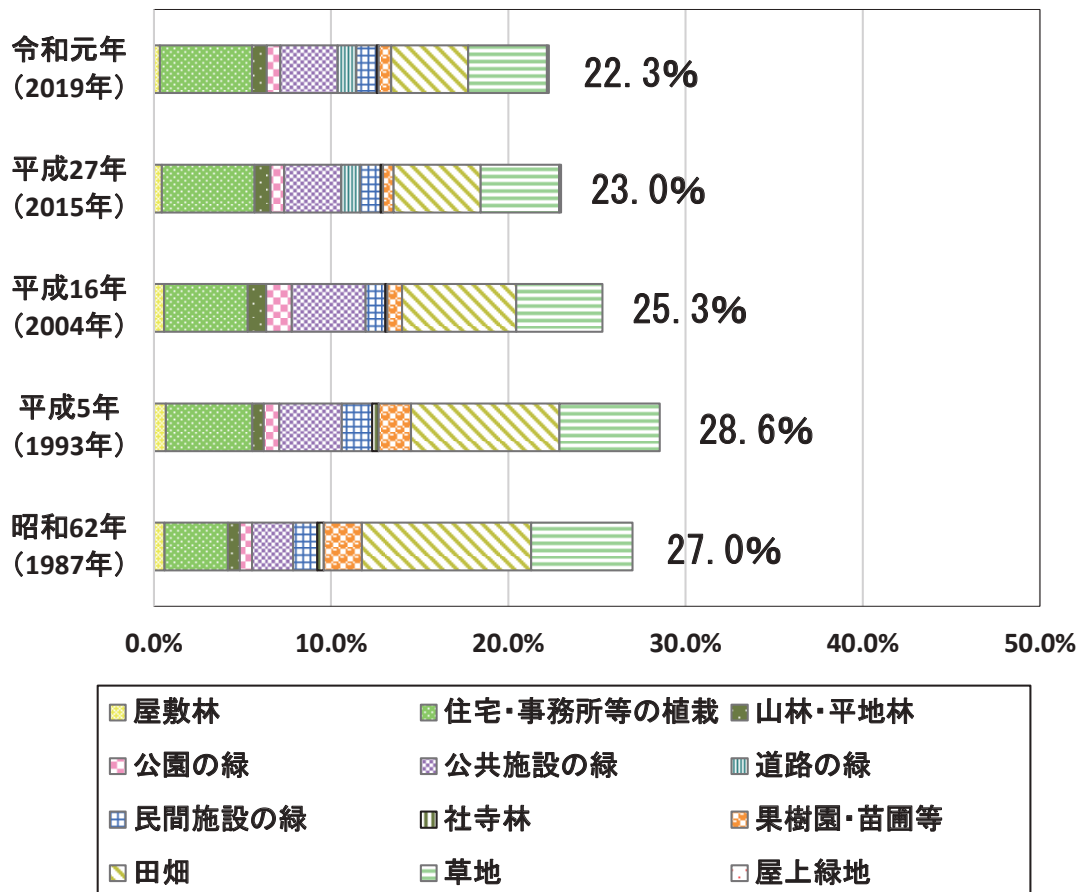
< 現状 >

地域全体での緑被率は 22.3% で 4 地域のなかで最も低く、「住宅・事務所等の植栽」「公共施設の緑」「田畑」等の構成比が他地域と比べて高いのが特徴です。長期的にみて「住宅・事務所等の植栽」は年々増加していますが、「果樹園・苗圃等」「田畑」は減少傾向にあります。

地域内では、布田崖線、府中用水が地域内を通り、南端部には雄大な河川景観を形成する多摩川があり、緑の骨格を形成しています。その他、特徴的な緑として、甲州街道沿いに連続した街路樹が並ぶほか、布田、染地、国領、八雲台には農地が比較的まとまっています。下布田遺跡や布多天神社、国領神社、大正寺などの文化資源には社寺林もあります。

平成 24 年 8 月に京王線の柴崎駅～西調布駅間の約 2.8km の区間と、調布駅～京王多摩川駅間の約 0.9km の区間が地下化され、道路交通の円滑化や歩行者、自転車の安全性の向上、鉄道により分断されていた市街地の南北一体化など、様々な面で都市構造が大きな変貌を遂げました。

緑被率の経年変化



出典：調布市緑に関する実態調査結果（令和元年度）



< 課題 >

- 南部地域において構成比が比較的高い「住宅・事務所等の植栽」等の私有地の緑のコントロールや「田畑」をはじめとした農地の保全が課題となります。
- 京王線の地下化により生じた空間は市の玄関口として多くの人々が利用する場所であり、緑のネットワーク形成が重要となります。
- 国領町5丁目付近では公園不足地域があり、公園の拡充が必要です。
- 市民意向では、河川の緑に対する印象が強い一方で、公園・緑地の量や親しみのある緑に関する満足度が低く、より親しみやすい公園・緑地を目指して緑の量と質を向上していくことが求められています。

< 方針 >

**市の中心地としてうるおいと活力にあふれ、
やすらぎとつながりを感じる緑の環境づくり**

商業・業務や生活機能が整った市の中心市街地として、面的なまちづくりを進めながら、親しみのある緑の空間形成を図ります。また、多摩川や野川といった水辺や街道沿いの連続的な空間を活かし、緑のネットワークを形成します。



甲州街道の並木



< 地域の将来像 >

凡例

- 公園・緑地等
- 樹林地
- 農地
- 鉄道敷地跡地

- シンボルとなる緑
- 農の里
- 花と緑の拠点
- 歴史文化資源

- ふれあいの小径^{こみち}
- 崖線の軸
- 水の軸

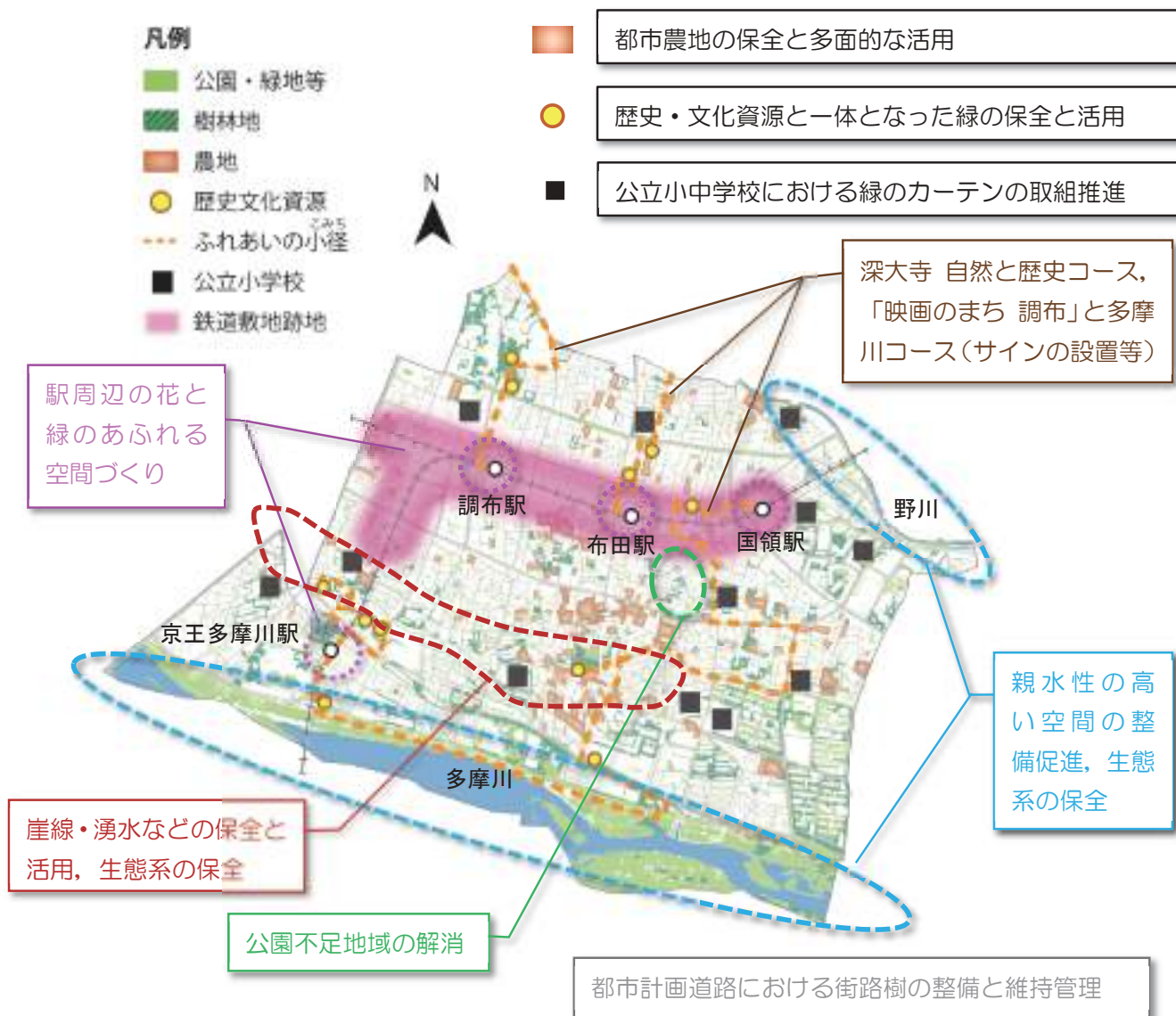


< 施策 >

施策名	概要	全体計画との対応
国領町5丁目付近の公園不足地域の解消	<ul style="list-style-type: none"> 公園に対する市民満足度が低いため、国領町5丁目付近の公園不足地域への、公園の配置・整備を検討しながら、魅力のある公園の創出に向けた検討を推進します。 	1-(1) 質の高い公園・緑地の適正配置と利用促進 4-(1) 公共施設の緑化の推進
国分寺崖線・布田崖線の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> 布田崖線、国分寺崖線等、武蔵野の原風景を伝え、多様な生物の棲み処となる貴重な自然を保全します。 	3-(2) 崖線・樹林地・湧水などの保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
下布田遺跡等と調和した緑の形成	<ul style="list-style-type: none"> 下布田遺跡等、歴史・文化的資源と一体となった緑の保全と活用を推進します。 	3-(3) 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
多摩川・野川を活かした水のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川や野川については、市民と協働で良質な河川環境の保全と活用を図りながら、生態系ネットワークの形成を推進します。 	3-(4) 川辺の保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
染地・布田地区農の里を中心とした都市農地の保全と振興	<ul style="list-style-type: none"> 染地や布田地域で比較的にみられる、都市景観と一体となった都市農地を保全し、農地の多面的機能を活かしながら農の里の実現を目指します。 	3-(5) 都市農地の保全と多面的な活用
地域をめぐり、地域の景観を向上させる緑のネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> 甲州街道や品川通りにおいては街路樹・植栽の維持管理を適切に行い、今後整備する都市計画道路においては整備を推進します。 調布駅－布田駅 や 布田駅－多摩川－京王多摩川駅を結ぶ、ふれあいの小径については緑化を推進し、歩きたくなる空間創出を推進します。 小中学校等においては緑のカーテンの取組を推進します。 調布・布田・国領駅の駅前広場と各駅をつなぐ鉄道敷地の連続した空間を有効に活用し、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある空間として整備を進めます。 	4-(1) 公共施設の緑化の推進 5-(1) 水と緑のネットワーク形成
調布駅・布田駅・国領駅・京王多摩川駅周辺の緑のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 調布駅・布田駅・国領駅・京王多摩川駅周辺の花と緑のあふれる空間づくりを推進します。 	5-(1) 水と緑のネットワーク形成 6-(2) 水と緑をそだてる意識づくり



< 施策位置図 >



- 【全域で取組む施策】**
- 1-(2) 市民参加による公園整備・管理の推進
 - 2-(1) 公園・緑地等の計画的な管理
 - 2-(2) 防災性を高める身近な緑の保全
 - 2-(3) 公園・緑地の利用の適正化
 - 3-(1) 民有地の緑化推進
 - 4-(2) 市街地・住宅地の緑化による街並み形成
 - 4-(3) 身近な樹木・植栽の保全
 - 5-(3) 緑資源を活かした循環型社会の形成
 - 6-(1) 市民・事業者・行政の協働による緑化活動の推進



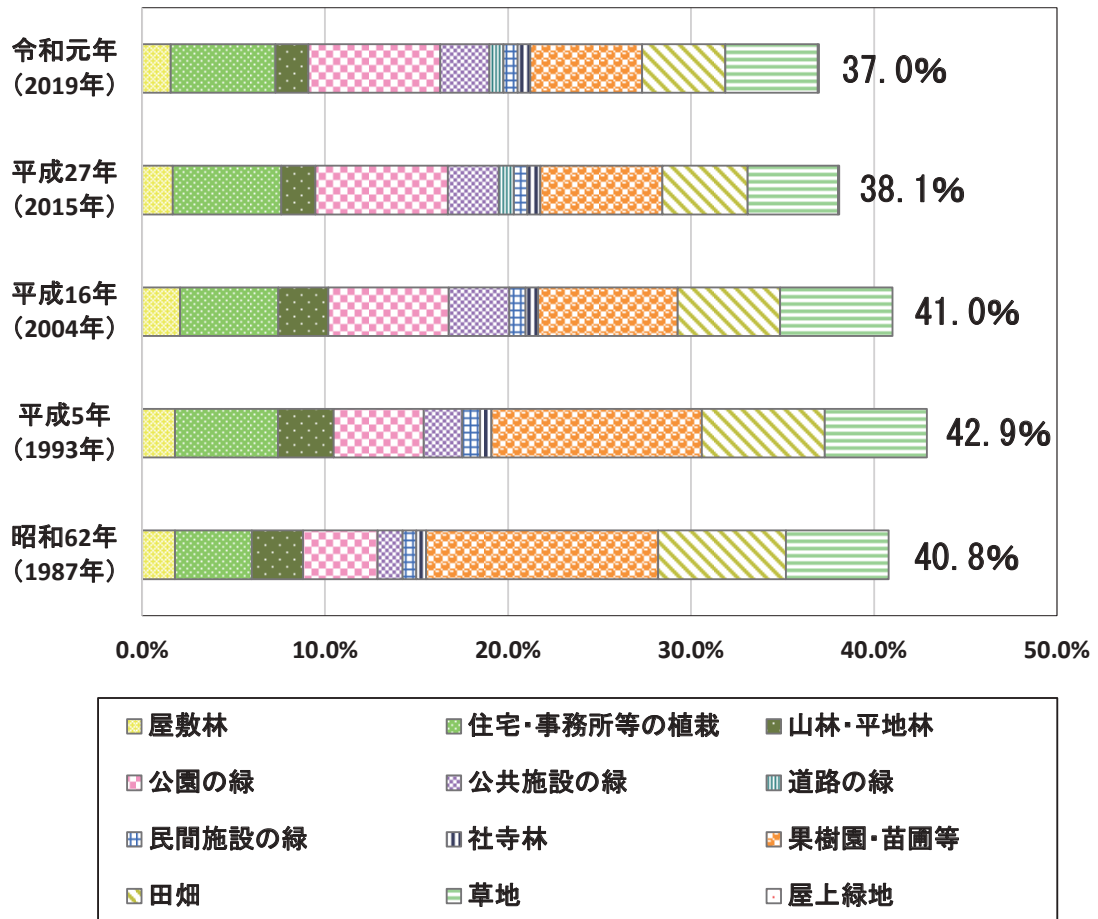
(5) 北部地域

< 現状 >

地域全体での緑被率は37.0%と4地区の中で最も高く、「屋敷林」「公園の緑」「果樹園・苗圃等」等の構成比が他地域と比べて高いのが特徴です。「公園の緑」は長期的に増加傾向にあります、「山林・平地林」や構成比の高い「果樹園・苗圃等」「田畑」は減少傾向にあります。

地域内では、国分寺崖線と野川が地域内を通り、緑の骨格を形成するとともに散策路などが整備されているため、市民の憩いの場となっています。崖線の中には神代植物園や深大寺自然広場があるほか、崖線の上と下にはそれぞれ農地が比較的まとまっていて、湧水の涵養域となっており、水田も残っています。また、深大寺、虎狛神社、祇園寺等には社寺林もあります。

緑被率の経年変化



出典：調布市緑に関する実態調査結果（令和元年度）



< 課題 >

- ・北部地域の緑として主要な部分を占める「山林・平地林」「果樹園・苗圃等」「田畑」は相互に関連しているため、一体となって保全をしていく必要があります。また、これらの緑の資源は地域のみならず市全体にとっても象徴的で重要な緑であるため、長期的・広域的な視点で保全・活用を図る必要があります。
- ・市民意向では、他地域よりも緑に対する満足度が高く、とくに崖線とその周辺の緑に対する印象が強いですが、街並みの景色に関する満足度は低く、自然と調和した住宅街の緑環境の保全・創出が求められています。

< 方針 >

崖線・里山・湧水・農の風景等，ほっとする緑の保全と環境づくり

神代植物公園，深大寺自然広場等は崖線や周辺の農地と一体となって，広域的に多様で豊かな緑空間を形成しています。野川と国分寺崖線の自然軸と合わせ，本市の特徴的な緑が集約された，市内外の人々にとって憩いのある緑のまちづくりを推進します。













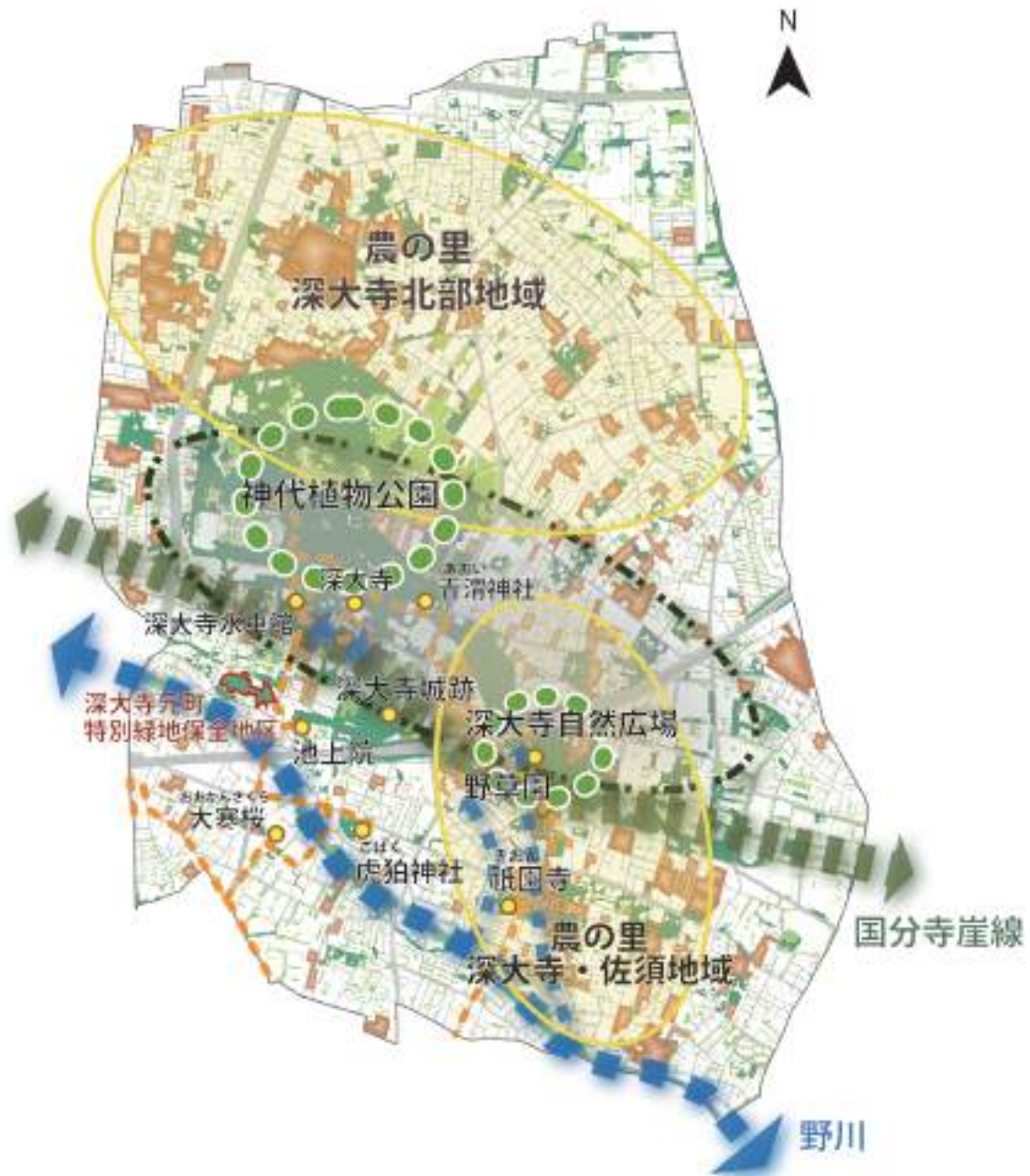
神代植物公園



< 地域の将来像 >

凡例

- | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  公園・緑地等 |  調布の森 |  ふれあいの小径 ^{こみち} |
|  樹林地 |  シンボルとなる緑 |  崖線の軸 |
|  農地 |  農の里 ^{みのり} |  水の軸 |
| |  歴史文化資源 | |



< 施策 >

施策名	概要	全体計画との対応
国分寺崖線の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な緑である国分寺崖線は湧水とともに、武蔵野の原風景を伝え、多様な生物の棲み処となる貴重な自然として保全します。 	3-(2) 崖線・樹林地・湧水などの保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
深大寺や周辺の神社等と調和した緑の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深大寺や周辺の神社等、歴史・文化的資源と一体となった緑の保全と活用を推進します。 	3-(3) 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
野川や周辺用水路を活かした水のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野川や周辺用水路については、市民と協働で良質な河川環境の保全と活用を図りながら、生態系ネットワークの形成を推進します。また、深大寺・佐須地域の野川にそそぐ用水路沿いの空間を活かし、散策路の環境を整備します。 	3-(4) 川辺の保全と活用 5-(1) 水と緑のネットワーク形成 5-(2) 生態系の保全と再生
農の風景育成地区や農の里を中心とした都市農地の保全と振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市にとって象徴的で重要な緑を多く有する、深大寺北部地区や深大寺・佐須地域では、都市景観と一体となった都市農地を保全し、農地の多面的機能を活かしながら農の里を実現します。 ・ 深大寺・佐須地域農の風景育成地区内は里山の風景を守り、農の風景の育成を図ります。 	3-(5) 都市農地の保全と多面的な活用
地域の景観を向上させる緑のネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武蔵境通りにおいては街路樹・植栽の維持管理を適切に行い、今後整備する都市計画道路においては整備を推進します。 ・ 小中学校等においては緑のカーテンの取組を推進します。 ・ ふれあいの小径については緑化を推進し、歩きたくなる空間創出を推進します。 	4-(1) 公共施設の緑化の推進 5-(1) 水と緑のネットワーク形成

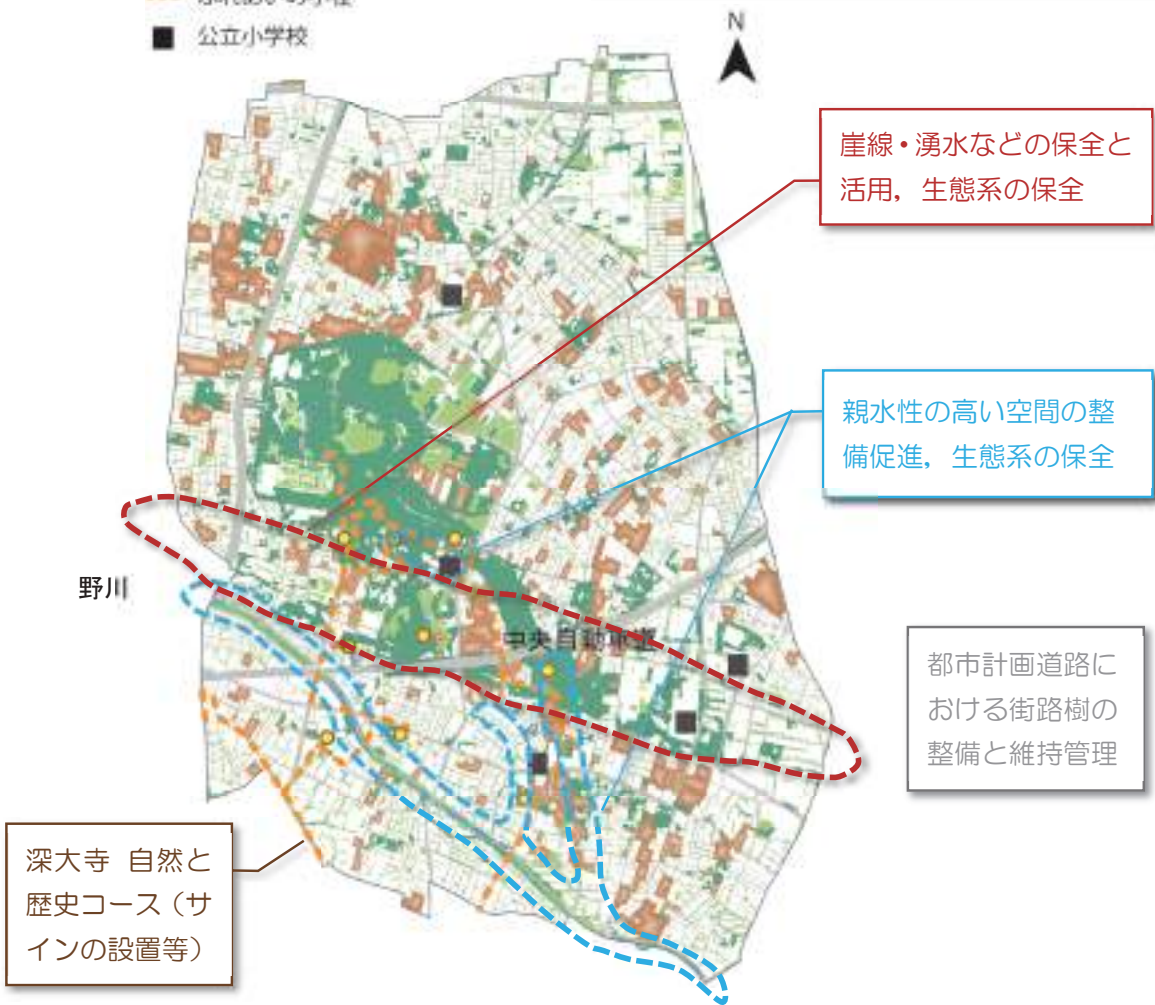


< 施策位置図 >

凡例

- 公園・緑地等
- 樹林地
- 農地
- 歴史文化資源
- ふれあいの小径
- 公立小学校

- 都市農地の保全と多面的な活用
- 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
- 公立小中学校における緑のカーテンの取組推進



深大寺 自然と歴史コース (サインの設置等)

崖線・湧水などの保全と活用, 生態系の保全

親水性の高い空間の整備促進, 生態系の保全

都市計画道路における街路樹の整備と維持管理

- 【全域で取組む施策】**
- 1-(1) 質の高い公園・緑地の適正配置と利用促進
 - 1-(2) 市民参加による公園整備・管理の推進
 - 2-(1) 公園・緑地等の計画的な管理
 - 2-(2) 防災性を高める身近な緑の保全
 - 2-(3) 公園・緑地の利用の適正化
 - 3-(1) 民有地の緑化推進
 - 4-(2) 市街地・住宅地の緑化による街並み形成
 - 4-(3) 身近な樹木・植栽の保全
 - 5-(3) 緑資源を活かした循環型社会の形成
 - 6-(1) 市民・事業者・行政の協働による緑化活動の推進
 - 6-(2) 水と緑をそだてる意識づくり

